



# 小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

## 小城市立歴史資料館テーマ展 「晴気天山社浮立資料」を開催します

晴気天山社(小城市)では、江戸時代から毎年秋にくんち祭りが行われます。豊作を感謝して天山社の氏子各地区が持ち回りで鉦浮立を奉納します。今回は明治～大正期の晴気地区の資料を中心に紹介します。

◆期間 8月27日(土)～11月27日(日)

◆場所 歴史資料館 常設展示室

◆観覧料 無料



◀晴気天山社

## 小城市立歴史資料館夏休みクイズ開催中です

小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館では小学生を対象としたクイズを実施中です。夏休み期間中に開催し、誰でも参加できます。



◆期間 ～9月4日(日)

◆参加方法 受付で解答用紙を配布します。

◆参加料 無料

※解答者には中林梧竹絵はがきを進呈します。

## 小城市立歴史資料館 令和4年度 第2回 収蔵刀剣展を開催します

収蔵刀剣展第2弾を開催します。

江戸時代製作の刀2振りを展示します。

◆期間 8月30日(火)～9月25日(日)

◆場所 歴史資料館 常設展示室

◆観覧料 無料

## おぎの歴史 ✿ 探検隊

### 小城の“まつり”〈その2〉～小城祇園の山挽行事～

小城祇園の山挽行事は、正和5(1316)年に下総国より小城に下向した千葉胤貞が、京都の祇園社(現八坂神社)より分霊を勧請し、旧暦6月15日の祇園会で祇園川沿いの東西の通りで山挽を行ったことが始まりとされています。

江戸時代には山挽行事の運営を小城藩が行い、小城郡の各郷より大庄屋の指図で集められた人たちが上町・中町・下町の南北の通りで挽山をひいていましたが、藩の財政再興のため天保14(1843)年から山挽は中止され神事のみが執り行われました。

山挽の再開が確認できるのは明治16(1883)年になってからで、上町・中町・下町の町民がそれぞれの挽山を製作し、横町が前夜祭(宵山)で浮立を奉納し安全祈願を執り行うようになりました。

3台の挽山のうち、山鉦とも呼ばれる下町の挽山は釘を使わずに綱や葛で櫓状に組み上げており、千葉氏が山挽を始めたころの技法が今に伝わっていると考えられています。

挽山の製作方法や前夜祭での横町の浮立奉納など、

他地域の祇園会では類例がない独自の姿で傳承され、小城を代表する夏祭りとなっています。(続)

小城郷土史研究会／著



▲下町の山鉦

✿開館時間 9時～17時

✿休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132